

浜の活力再生プラン  
(第 2 期)

## 1 地域水産業再生委員会

組織名	指宿地域水産業再生委員会 (ID:1139004)
代表者名	会長 川畑 三郎

再生委員会の構成員	指宿漁業協同組合、山川町漁業協同組合、山川水産加工業協同組合、指宿市、鹿児島県南薩地域振興局
オブザーバー	

対象となる地域の範囲及び漁業の種類	<p>指宿市</p> <p>一本釣り:91 名, 瀬物一本釣り:6 名, 刺網:48 名, 定置:10 名, 旋網:5 名, ごち網:6 名, 底曳網:4 名, たこかご:22 名, 延縄:4 名, 養殖:7 名</p> <p>対象漁業者 174 名</p> <p>※兼業が存在するため, 合計とは一致しない。</p>
-------------------	---

## 2 地域の現状

## (1) 関連する水産業を取り巻く現状等

<p>1 地域の概況</p> <p>指宿市は、薩摩半島の最南端、鹿児島湾口に位置する人口 41,831 人（平成 27 年国勢調査確報値）、面積 148.84 平方キロメートルの花と緑に溢れた食と健康のまちである。</p> <p>東は錦江湾を隔てて大隅半島と対峙し、北は県都・鹿児島市、西は畑作地帯が広がる南九州市と隣接し、南は東シナ海に臨み、明媚な風光を誇っている。指宿市の中央部には九州一の大きさを誇る池田湖、南西部には標高 924 メートルの薩摩富士の別名で呼ばれる秀峰開聞岳、南部には南国ムード漂う長崎鼻、東部には潮の干満で陸続きになる、環境省のかおり風景百選に認定された知林ヶ島を有している。</p> <p>市の全域を霧島火山脈が縦断しており、世界に類を見ない「天然砂むし温泉」をはじめ、豊富に湧出する温泉に恵まれている。</p> <p>また、1 日に 10 万トンも湧き出る清水に代表され、豊かな水環境を有するソーメン流しで有名な唐船峡の湧水「唐船峡京田湧水」は環境省の「平成の名水百選」に認定されており、合わせて周辺地域は、国土交通省の「水の郷百選」にも認定されている。</p>
--

さらに、市内には橋牟礼川遺跡や水迫遺跡に代表される歴史的にも貴重な発見のあった遺跡が多くあり、歴史のまちとしても知られている。年間平均気温は、暖流の影響で約 18 度と高く、温暖で亜熱帯的な気候のため、市内にはソテツが自生し、幸せを呼ぶ熱帯蝶のツマベニチョウが乱舞する北限の地とも言われている。

## 2 漁業の概要

### (1) 遠洋漁業

山川漁港において、海外まき網船や輸入船などによるカツオ・マグロ等の水揚げがさかんに行われているが、国際的な資源管理の強化、タイ・バンコクとの価格競争に伴う魚価の高騰などにより、カツオの安定的な確保が厳しい状況が続いている。

### (2) 沿岸・沖合漁業

今和泉漁港、指宿港、山川漁港、児ヶ水漁港、川尻漁港、脇浦漁港において、一本釣り漁業、刺網漁業、底曳網漁業などの沿岸・沖合漁業がさかんに行われている。中には尖閣諸島周辺海域での瀬物一本釣り漁業、枕崎沖合でのヒゲナガエビを対象にした底曳網漁業、開聞岳周辺での定置網漁業も行われている。

### (3) 海面養殖業

海面養殖業は、指宿沖と山川湾内においてブリ・カンパチなどの養殖が行われており、特に山川湾内ではかごしまのさかなブランド認定を得た「いぶすき菜の花カンパチ」の養殖が行われている。

## 3 漁業生産の概要

指宿漁業協同組合は組合員 163 人、漁船 150 隻を有しているが、5 t 未満の漁船が多く全体の 85% を占めており、大部分の組合員が沿岸・沖合漁業に従事している。組合員の中には尖閣諸島周辺海域での瀬物一本釣りや、枕崎沖合でのヒゲナガエビを対象にした底曳網漁業に従事している者もいる。近年は、高齢化の進行や後継者不足、燃油の高騰などにより厳しい経営状況が続いている。

組合員は、今和泉漁港、指宿港を拠点に水揚げを行い、平成 29 年度の水揚量は約 1,196 t、水揚高は約 9 億 767 万円となっている。

山川町漁業協同組合は組合員 99 人、漁船 72 隻を有している。第 3 種漁港である山川漁港では、海外まき網船や近海かつお一本釣り船などによるかつお節の原料となるカツオの水揚げが行われている。組合員は一本釣り、建網漁業、定置網漁業といった沿岸漁業が主となっている。また、湾内ではカンパチ、ブリなどの海面養殖業も行われ、「いぶすき菜の花カンパチ」はかごしまのさかなブランド認定魚に認定されている。

本組合の平成 29 年度の水揚量は約 40,052 t、水揚高は約 92 億 2,320 万円で、水揚げ量は近年カツオ資源状況の悪化により減少傾向で前年度と比較して 2,459t の減少となったが、水揚げ金額については近年の世界的な健康志向などによる需要の高まりによってバンコク等のカツオ

の相場が高くなり、単価が上昇したことから前年度と比較して 12%の伸びとなっている。

沿岸漁業においては、魚価の低迷、水産資源の減少、燃油の高騰、後継者不足などにより大変厳しい状況が続いている。

近年のかつお漁業に関しては、資源保護の為、年間3か月間の FADs での操業禁止と大きく変貌し、中西部太平洋島嶼国等における外地転載等の水揚に対処し、山川地区加工場にかつお節原料の安定供給を図るため、運搬船（漁協単独チャーター船）の運行等を手掛けていたが、現在は入港料の関係等により一時中断している。

全国的な傾向と同様、高齢化が進んでいる南薩地域の中で、山川地区は若手漁業者が就業し優良な水揚げを行うなど、沿岸漁業においても活気が見られる地域でもある。

山川水産加工業協同組合（以下、加工組合とする）の加工業者数は 26 業者で平成 29 年度は約 8,401 トンのかつお節を製造しているが、年々原料カツオの確保が難しくなっており、山川町漁業協同組合と連携して山川漁港での安定的な水揚げの推進を図る必要がある。

本市のかつお節の生産量は、全国の約 3 割を占め、枕崎・焼津と並び日本の三大産地となっている。中でもかつお節の最高級といわれる本枯本節は全国の 7 割を占め、平成 22 年 3 月には地域食品ブランド表示基準「本場の本物」に認定され、また平成 29 年 5 月には「指宿鰹節」というブランド名で PR するためロゴマークを作成し、平成 30 年には商標登録を行って鰹節生産地としてのブランド化や国内認知度の向上に取り組んでいるところである。

#### 4 漁業経営の概要

漁船漁業においては、近年の資源の減少、燃油の高騰、魚価安などで厳しい経営状態が続いている。養殖業においては、最近になってブリやカンパチなどの単価が上向きつつあるが、価格が安定せず、餌飼料価格の高騰、赤潮の発生などの問題があり、経営の安定化に支障をきたしている。

## (2) その他の関連する現状等

これまでの地域の取組等

### 1 漁獲の安定化等

水産資源の持続的利用ができるよう休漁日を設定し、資源管理を実行している。また、つくり育てる漁業としてマダイ・ヒラメなどの稚魚放流を毎年実施している。さらに産卵用のイカシバの設置やタコツボの投入事業、ホンダワラ・アマモ・ワカメなどの藻場造成も各漁協の独自事業として取り組んでいる。

指宿漁協岩本支所の所属漁船である瀬物一本釣り船団は、遠くは、沖縄県尖閣諸島で漁を行っており、以前は 19 トン型の漁船 10 隻が出漁して各船の情報を全船で共有しながら尖閣諸島の漁場を 40 年ほど前から開拓してきたが、高齢化や後継者不足、燃油高騰等の影響で、現在は 2 隻

が操業しているのみである。

尖閣諸島海域は、所属船が中国船籍の船に追尾される事案が発生するなど、安全確保が困難となっており、平成 25 年度からは「外国漁船等操業調査事業」を導入し、国境警備を含め外国漁船の操業状況等の調査を行っている。

山川町漁協の青年部は、毎年マダイ・ヒラメの放流を実施する際に地域の小学 5 年生を招き放流体験授業を実施しており、放流前に小学校に出向き、魚類の生態や流通、放流事業の重要性を説明する出前授業も実施している。

指宿漁協の水産振興会と山川町漁協の藻場保全会においては、水産多面的機能発揮対策事業を導入して、漁村文化の伝承活動として、瀬物一本釣りで漁獲されるアオダイ等を使った試食会の開催や、小さな子どもを持つ母親を対象に地元で水揚げされる魚を使い「さばき方教室」も開催し、漁村文化の伝承活動を通して魚食普及活動に取り組んできた。

また、両漁協とも藻場保全活動に熱心に取り組んでいる地域でもあり、全国豊かな海づくり大会において、平成 23 年に指宿地区藻場保全会が「水産庁長官賞」を、平成 25 年には山川地区藻場保全会が「農林水産大臣賞」を受賞している。これも、両漁協の長年の地道な活動が高く評価されたものと認識しており、今後の活動の励みとなっている。

カツオの町である指宿市山川漁港は、山川町漁協、加工組合を中心に「山川漁港開港促進協議会」を立ち上げ、財務省や厚生労働省へ市と一緒に要望活動をした結果、平成 25 年 12 月 27 日には旧山川町時代からの 20 年来の悲願であった「無線検疫対象港」に指定され、山川漁港に水揚げされる水産物に限定した税関手続きが行われている。

山川漁港には海外まき網船や運搬船等の大型船舶が入港することから、－9 m の航路及び水揚げ岸壁の延長整備が行われている。また、かつお節生産に必要な原料のカツオは、山川地域において年間 5 万 5 千トンが必要であり、漁獲物の受入施設として平成 24 年度の産地水産業強化支援事業により水産鮮度保持施設（冷凍冷蔵庫施設）を整備し、有効活用しているところである。

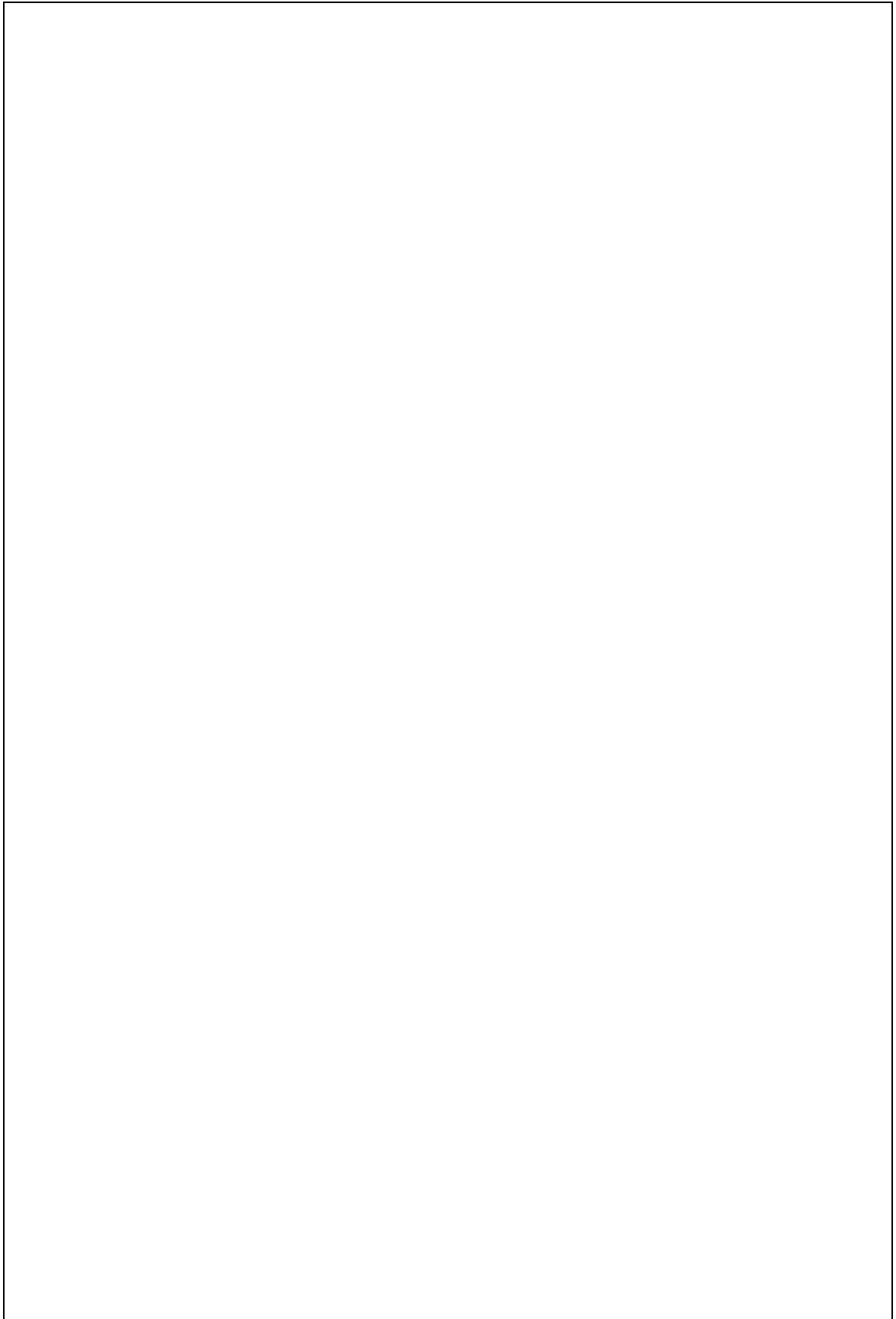
## 2 漁業コストの削減

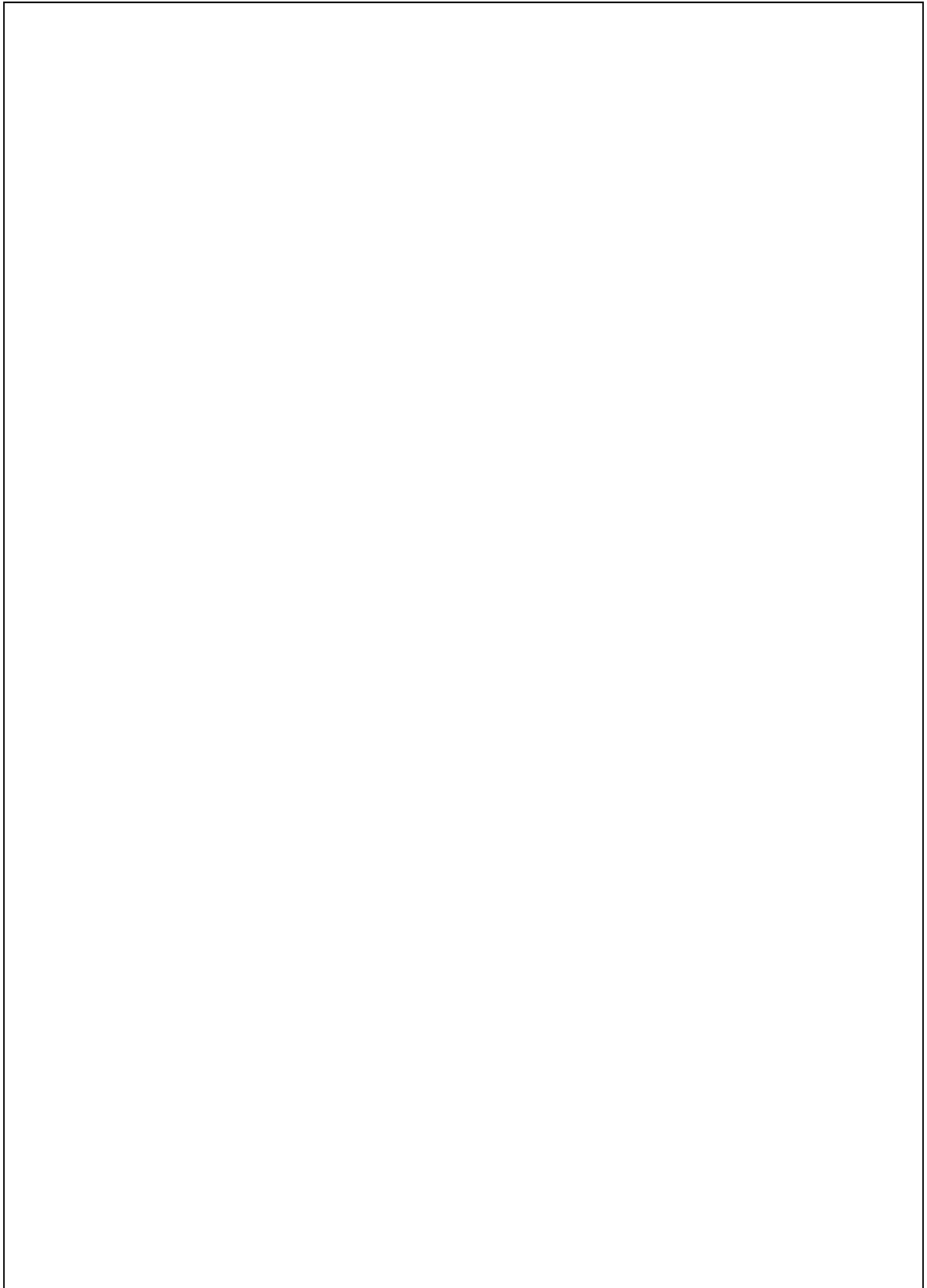
瀬物一本釣り漁業においては共同探索・航行時の速度制限により燃油消費量の低減を図り、専業的漁業者の全てが漁業用燃油緊急特別対策へ加入している。

## 3 活性化の取組方針

### (1) 前期の浜の活力再生プランにかかる成果及び課題等

--





## (2) 今期の浜の活力再生プランの基本方針

### 1 資源の増大と漁場環境保全

沿岸漁業においては、水産資源の減少、魚価の低迷、燃油の高騰など漁業者にとっては厳しい状況が続いているが、安心して操業に取り組める海を守り育てるため、限りある資源の効果的な管理と資源・環境に見合った適切な操業を推進する必要がある。

水産資源の回復・増加を図るため、ヒラメ・マダイ種苗放流や産卵用のイカシバ・たこつぼの投入などに取り組んでいく。なお、栽培漁業による受益範囲は、漁業者はもとより遊漁者など広く県民全体に及んでいることから、鹿児島県の協力のもと栽培漁業に関する情報提供を実施し、放流事業への理解の促進に努めていく。

また漁場環境保全・整備のため、水産多面的機能発揮対策事業による藻場造成活動に積極的に取り組むとともに、魚礁や増殖場の整備にも取り組んでいく。

### 2 付加価値向上や販路拡大等による魚価向上

漁獲の際の鮮度保持の方法について、他地区で行われている先進的な事例を積極的に取り入れて鮮度保持を図るとともに、荷さばき施設の衛生管理対策に取り組む。

さらに、加工施設のHACCP対応制度化に向け、漁協加工施設や道の駅、地元漁業者の加工施設のHACCP対応化を積極的に推進し、指宿産の水産物の安心・安全なブランドを確立することで漁獲物の単価の向上・安定化を図る。また、未利用資源等を使った加工品の開発に積極的に取り組むことで未利用資源の付加価値の向上に取り組むとともに、イベント等への出展や試食会などの実施で認知度の向上、地元消費量の拡大を図る。

物産館や漁協直売所においては、漁業者による直接販売を積極的に推進し、漁家収入の向上を図る。また、地域の子供達を対象とした、魚と触れ合う機会の創出や学校給食の活用等による食育に取り組むことで、水産物に対する理解の促進と家庭・学校及び地域における魚食普及の推進を図る。

魚類養殖については、環境の維持保全を図るとともに、今後も消費者ニーズに対応した安心・安全な魚づくりの推進やPR等を行っていく。

### 3 加工業（かつお節製造業）の振興

指宿市の山川地域におけるかつお節の生産量は全国の約3割を占め、枕崎・焼津と並んで日本三大産地のひとつとなっている。指宿市の基幹産業となっているかつお節の生産・加工業の振興のため、今後もカツオ船の誘致を市、漁協、加工組合が連携して積極的に行い、かつお節原料であるカツオの安定供給に継続的に取り組んでいく必要がある。

山川町漁協においては、山川地区加工場にかつお節原料の安定供給を図るために水揚げ機会の増加に努めており、今後とも海外まき網船・輸入船等が入港しやすい環境づくりと、海外まき網船の誘致を積極的に推進していき、山川漁港の無線検疫指定港の継続・維持及び開港の実現を目指す。

山川水産加工組合においては山川産のかつお節のブランド化に取り組むため、平成 29 年度に「指宿鯉節」というブランド名でPRするためロゴマークの作成・披露会を実施したところであり、今後も山川町漁協・指宿市と連携して指宿鯉節のブランド化と認知度向上・販路拡大に積極的に取り組んでいく予定である。また、ミール工場の機器設備や冷凍冷蔵庫の冷凍機器の老朽化が進んでいることから、今後、補助事業等を活用して計画的に整備していく。

#### 4 水産基盤施設の適切な整備

水産物の生産・流通の拠点となる漁港を中心に、護岸や沖防波堤などの漁港施設の整備や長寿命化のための機能保全など、より安全で使いやすい漁港づくりを進めていく。

また、水揚げ荷捌き施設や冷蔵庫等が老朽化していることから、補助事業を活用して計画的に整備していく。

特に山川地区においては、カツオ・マグロの水揚げの増加を図るため、海外まき網船、輸入船等の入港誘致を積極的に行うとともに、県・市と連携しながら補助事業を活用して大型船舶入港のための-9m 岸壁や高度衛生管理型市場整備を進める。

#### 5 後継者の確保・育成

後継者対策として、県や県漁連の新規漁業就業者定着推進事業（かごしま漁業学校）や新規漁業就業者確保事業を活用し、新規就業者の確保・育成に精力的に取り組む。

また各組合の青年部活動のサポートに重点的に取り組むとともに、地域における意欲と能力のある漁業者を中核的漁業者として育成し、そのうち指導的役割を担っている漁業者を漁業士に育成し、その自主的活動を促進する。

#### 6 漁業コストの削減

定期的な船底等の清掃、省エネ型エンジン・新船の導入、減速航行、漁場の共同探索などによる燃油消費軽減をさらに進めていく。

また、漁船や漁労設備の修繕費の削減に向けて計画的な設備更新に取り組むとともに、浮き棧橋や上架施設等の共同利用施設の適正な管理と計画的な改修を行い、安心して効率的な操業を続けられる漁港機能の維持に取り組む。

### (3) 漁獲努力量の削減・維持及びその効果に関する担保措置

- ・鹿児島県漁業調整規則により、採捕できる水産動物の体長制限や採捕禁止期間を設けるとともに、漁法の制限が行われている。
- ・鹿児島海区漁業調整委員会指示により、マダイ、ヒラメの体長制限が設けられている。
- ・漁業権行使規則により、沿岸漁業の適正な漁獲の維持・管理に努めている。



- ・マチ類広域資源管理方針に参画し、保護区及び保護期間を設定して、ハマダイ、アオダイ、ヒメダイ、オオヒメの資源保護に取り組んでいる。
- ・漁協や業者会の取り決めにより、マダコやヒゲナガエビ等において採捕禁止期間を設けている。

(4) 具体的な取組内容（毎年ごとに数値目標とともに記載）

1年目（平成31年度） 基準年より漁業所得の2.3%向上を目指す。

<p>漁業収入向上のための取組</p>	<p>漁業収入向上のための取組</p> <p>以下の取組を実施することで、基準年より漁業収入の0.9%向上を目指す。</p> <p>1 資源の増大と漁場環境保全</p> <p>(1) 藻場の造成</p> <p>指宿漁協・山川町漁協及び漁業者は、沿岸漁場の維持・回復を図るため、鹿児島県水産技術開発センターや鹿児島水産高等学校等と連携しながら、アマモやホンダワラ類・ワカメ等の藻場造成や食害生物の除去等に取り組む。</p> <p>(2) 漁場整備</p> <p>山川町漁協は、沿岸漁業資源の増大を図るため、共同漁業権区域内への人工魚礁を整備するとともに、増殖礁の整備計画を進める。</p> <p>また指宿漁協・山川町漁協及び漁業者は、沿岸漁業の重要な漁獲対象魚種であるアオリイカやマダコの資源増大を図るため、産卵用のイカシバやたこつぼの投入を計画的に行う。</p> <p>さらに漁業者は、過去に整備された漁場や新たに整備された漁場の積極的な活用に取り組む。</p> <p>(3) 種苗放流</p> <p>指宿漁協・山川町漁協及び漁業者は、これまで実施してきたマダイ・ヒラメの種苗放流について、より放流効果を高めるために、かごしま豊かな海づくり協会の協力を得ながら種苗の海面馴致や放流適地の選定、種苗放流の集約化に取り組む。</p> <p>2 付加価値向上や販路拡大等による魚価向上</p> <p>(1) 衛生対策・鮮度保持</p> <p>指宿漁協は、市場における木製魚函の廃止（プラスチック製魚函のみの使用）の徹底やステンレス製荷鈎の使用、市場入り口の消毒槽設置、高圧洗浄機等による市場場場の清掃等の徹底など、市場の衛生対策に取り組む。</p> <p>山川町漁協及び漁業者は、指宿漁協市場への沿岸物の漁獲物の出荷に積</p>
---------------------	---

極的に取り組む。

指宿漁協・山川町漁協及び漁業者は、鮮度保持に係る先進事例の積極的な情報収集に取り組む。

漁業者（特に瀬物一本釣り船団）は、新たな漁獲物の鮮度保持の取り組みとしてナノバブル発生装置を導入する。

## (2) 漁獲物の販路の強化・拡大

指宿漁協は、鮮魚商組合と協議し、指宿漁協本所市場での入札に参加する仲買人の増加を促す。

指宿漁協・山川町漁協及び漁業者は、漁獲物の一部を鹿児島中央卸売市場へ出荷し、鮮度保持・衛生対策の施された指宿産水産物のPRに取り組む。

漁業者は、鮮度保持・衛生対策を施した指宿産水産物を道の駅「山川港活お海道」や「いぶすき彩花菜館」に積極的に出荷し、鮮度保持・衛生対策の施された指宿産水産物のPRに取り組む。

漁業者は、鹿児島中央卸市場・指宿漁協市場の休市時に、沿岸物の漁獲物の量販店や鮮魚店への直接出荷に積極的に取り組む。

指宿漁協・山川町漁協及び漁業者は、アオダイ・ハマダイや「菜の花カンパチ」などについてお歳暮用としての鮮魚の出荷・販売を強化する。

## (3) 加工施設のHACCP対応化と加工品の開発・販売強化

指宿市・山川町漁協及び漁業者は、平成32年度のHACCP制度化に向け、指宿市内の漁協加工場や水産加工施設のHACCP制度化に対応した衛生基準の導入に取り組む。

漁業者は、加工業者等とも連携しながら、飼付ブリや小型のマダイ、足の切れたマダコやカタボシイワシなど、浜値の低い魚種を利用した加工品の開発に積極的に取り組む。

指宿漁協・山川町漁協・山川水産加工組合は、指宿市や加工業者等と連携しながら指宿産水産物のPRプロジェクト「篤姫の台所」を積極的に活用し、東京や指宿市内で開催される指宿市主催の商談会への出展やインターネット販売など、指宿産の水産加工品の販売強化に取り組む。

指宿市・指宿漁協・山川町漁協・山川水産加工組合及び漁業者は、指宿市主催の「いぶすきマルシェ」などの地域イベントへの出展や、南薩地区（指宿市・南九州市・枕崎市・南さつま市）の水産物直売施設で構成する「南薩おさかな海道ネットワーク協議会」と連携した広域的な水産物販促イベントでの出展、鹿児島県主催の水産物品評会への出品、ふるさと納税の返礼品への出品等に精力的に取り組む、指宿産の水産加工品のPRと販路拡大に積極的に取り組む。

### 3 加工業（かつお節製造業）の振興

#### (1) 加工原魚確保の推進

指宿市・山川水産加工組合・山川町漁協は、かつお節の原料であるカツオの水揚げ増加を図るため、海外まき網船入港の誘致活動や輸入環境の整備に取り組む。

#### (2) かつお節の販売・PR活動

山川水産加工組合は、指宿市内のホテル・旅館等へのかつお節削り機の整備を推進し、観光客へのかつお節のPRを行うとともに、地元でのかつお節の消費拡大に取り組む。

山川水産加工組合は、地元の学校給食や結婚式・Jリーグチームへのかつお節の提供やかつお節を使った新商品の開発に取り組み、指宿鰹節のPRと販売促進に取り組む。

山川水産加工組合青年部「協和会」と女性部「オカカーズ」は、毎月24日の「ふしの日」にJR指宿駅等がかつお節のパックの無料配布や11月24日の「いい節の日」イベント、毎年開催される菜の花マラソン等での茶ぶしの無料配布を行い、指宿鰹節のPRに取り組む。

#### (3) 指宿鰹節のブランド化

山川水産加工組合は、平成30年度に商標登録を行った「指宿鰹節」について、地域団体商標登録へ向けて九州経済産業局と協議を進めるとともに、かつお節産地の統一感の醸成へ向け、山川地域で製造される鰹節関連の加工品のパッケージや段ボール等への、「指宿鰹節」ロゴマークの使用の徹底を図る。

山川水産加工組合と指宿市は、東京や京都など大都市圏のレストランと連携して指宿鰹節フェアを実施し、都市部富裕層に向けたコアなファンづくりに取り組む。

### 4 水産基盤施設の適切な整備

#### (1) 漁港施設の整備

山川町漁協と鹿児島県は、海外まき網船など大型漁船の誘致に向け、山川漁港外港の－8m岸壁200mについて、耐震機能を強化した－9m岸壁290mの整備を進め、併せて大型漁船が安全に入港できるように－8m航路・泊地の－9mへの増深工事を進める。

#### (2) 水揚荷捌施設の整備

山川町漁協と鹿児島県は、既存の山川漁港外港荷捌施設の南側半面について、高度衛生管理型市場へ整備を進め、併せてバッテリー式フォークリ

	<p>フト4台の整備に取り組む。</p> <p>山川町漁協は鹿児島県と連携しながら、老朽化した山川漁港内港荷捌施設について安全性を確保するため、東側屋根の改修と水揚げした魚に直射日光が当たるのを防ぐ遮光カーテンを一部に整備する。</p> <p>また山川町漁協は、山川漁港内港荷捌施設に新たな自動製氷設備の整備について協議を進める。</p> <p>(3) 衛生管理型水産物総合加工施設の整備</p> <p>山川町漁協は、3箇所の加工施設を1箇所に集約させて生産性の効率化・安定化を図るため、新たなHACCP対応型の総合加工施設の整備について計画協議を行う。</p> <p>(4) 冷凍冷蔵施設の整備</p> <p>山川町漁協は、入港する海外まき網船の大型化と生食用カツオの増産化が年々進んできていることを受け、生食用カツオの保管容量を増加させるため、新たな超低温冷凍庫の整備を検討する。</p> <p>山川町漁協と山川水産加工組合は、2020年にフロンガスの完全撤廃を受け、現在フロンガス冷媒を使用している冷凍機のアンモニアガス若しくは代替フロンに対応した冷凍機への入れ替え作業について、補助事業や制度資金等を視野に入れて長期的に取り組んでいく。</p> <p>5 後継者の確保・育成</p> <p>(1) 新規就業者の確保・育成</p> <p>指宿漁協・山川町漁協は、漁業就業希望者への就業情報や漁業情報の提供、県・県漁連の新規漁業就業者定着推進事業（かごしま漁業学校）や新規漁業就業者確保事業による漁業現場での実践的研修の実施・技術習得支援を行っていくとともに、市の漁業後継者奨励金による新規漁業就業者の着業促進を図り、将来の漁業生産を担う意欲的な人材を確保・育成に取り組む。</p> <p>(2) 若手漁業者の育成</p> <p>指宿漁協・山川町漁協・指宿市・鹿児島県南薩地域振興局は、既に着業している若手漁業者に向け、漁業制度資金や水産業成長産業化沿岸地域創出事業等の積極的な活用の推進を図り、若手漁業者の独立・操業支援に取り組む。</p>
<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<p>漁業コスト削減のための取組</p> <p>以下の取組を推進することで、漁業コストを基準年より0.6%削減する。</p> <p>1 省燃油活動の実施</p>

	<p>漁業者は、船底やプロペラ等の清掃及び塗装を年1回以上行い燃油の削減に努める。</p> <p>指宿漁協・山川町漁協は、近場の操業ができるよう漁業権内への新たな魚礁・増殖礁の設置を検討し、燃油の削減に繋げる。</p> <p>2 省エネ航行の実施</p> <p>漁業者は、操業の際の減速航行を徹底し、燃油の削減に努める。</p> <p>3 漁場共同探索の実施</p> <p>瀬物一本釣りグループでは、衛星電話で連絡を取り合い、情報の共有化を行い、漁場探索時間の短縮による燃油の削減を図る。</p> <p>4 計画的な設備の更新</p> <p>漁業者は、老朽化した船体や推進機関・漁労設備等について、水産業成長産業化沿岸地域創出事業等の補助事業を活用して計画的な設備の更新に努め、効率的な操業に努める。</p> <p>5 共同利用施設の適正な管理と計画的な改修</p> <p>鹿児島県・指宿市及び指宿漁協・山川町漁協は、浮き栈橋や上架施設等の共同利用施設の適正な管理と計画的な改修を行い、安心して効率的な操業を続けられる漁港機能の維持に取り組み、漁業者の効率的な操業のサポートに取り組む。</p>
<p>活用する支援措置等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水産多面的機能発揮対策事業（国）</li> <li>・県単漁場施設整備事業（県）</li> <li>・広域漁場整備事業（国）</li> <li>・豊かな海づくり総合推進事業（県）</li> <li>・つくり育て管理する漁業補助金（市）</li> <li>・魚類増殖事業補助金（市）</li> <li>・浜の活力再生広域プラン実証調査事業（国）</li> <li>・水産基盤整備事業（国）</li> <li>・浜の活力再生・成長促進交付金（国）</li> <li>・漁港機能増進事業（国）</li> <li>・種子島周辺漁業対策事業（JAXA）</li> <li>・水産業成長産業化沿岸地域創出事業（国）</li> <li>・浜の担い手漁船リース緊急対策事業（国）</li> </ul>

	・競争力強化型機器等導入緊急対策事業（国）
--	-----------------------

2年目（平成32年度） 基準年より漁業所得の5.8%向上を目指す。

<p>漁業収入向上のための取組</p>	<p>漁業収入向上のための取組</p> <p>以下の取組を実施することで、基準年より漁業収入の2.2%向上を目指す。</p> <p>1 資源の増大と漁場環境保全</p> <p>(1) 藻場の造成</p> <p>指宿漁協・山川町漁協及び漁業者は、沿岸漁場の維持・回復を図るため、鹿児島県水産技術開発センターや鹿児島水産高等学校等と連携しながら、アマモやホンダワラ類・ワカメ等の藻場造成や食害生物の除去等に継続的に取り組む。</p> <p>(2) 漁場整備</p> <p>指宿漁協・山川町漁協は、沿岸漁業資源の増大を図るため、共同漁業権区域内への増殖礁を整備するとともに、新たな魚礁・増殖礁の整備計画を進める。</p> <p>また指宿漁協・山川町漁協及び漁業者は、沿岸漁業の重要な漁獲対象魚種であるアオリイカやマダコの資源増大を図るため、産卵用のイカンバやたこつぼの投入を継続的に行う。</p> <p>さらに漁業者は、過去に整備された漁場や新たに整備された漁場の積極的な活用に継続的に取り組む。</p> <p>(3) 種苗放流</p> <p>指宿漁協・山川町漁協及び漁業者は、これまで実施してきたマダイ・ヒラメの種苗放流について、より放流効果を高めるために、かごしま豊かな海づくり協会の協力を得ながら種苗の海面馴致や放流適地の選定、種苗放流の集約化に継続的に取り組む。</p> <p>2 付加価値向上や販路拡大等による魚価向上</p> <p>(1) 衛生対策・鮮度保持</p> <p>指宿漁協は、市場における木製魚函の廃止（プラスチック製魚函のみの使用）の徹底やステンレス製荷鈎の使用、市場入り口の消毒槽設置、高圧洗浄機等による市場揚場の清掃等の徹底など、市場の衛生対策に継続的に取り組む。</p> <p>山川町漁協及び漁業者は、引き続き指宿漁協市場への沿岸物の漁獲物の出荷に積極的に取り組む。</p>
---------------------	---

指宿漁協・山川町漁協及び漁業者は、鮮度保持に係る先進事例の積極的な情報収集に継続的に取り組む。

瀬物一本釣り船団は、31年度に整備したナノバブル発生装置を活用し、漁獲物の鮮度保持に積極的に取り組む。

## (2) 漁獲物の販路の強化・拡大

指宿漁協は、鮮魚商組合と協議し、指宿漁協本所市場での入札に参加する仲買人の増加を継続的に促していく。

指宿漁協・山川町漁協及び漁業者は、漁獲物の一部を鹿児島中央卸売市場へ出荷し、鮮度保持・衛生対策の施された指宿産水産物のPRに継続的に取り組む。

漁業者は、鮮度保持・衛生対策を施した指宿産水産物を道の駅「山川港活お海道」や「いぶすき彩花菜館」に積極的に出荷し、鮮度保持・衛生対策の施された指宿産水産物のPRに継続的に取り組む。

漁業者は、鹿児島中央卸売市場・指宿漁協市場の休市時に、沿岸物の漁獲物の量販店や鮮魚店への直接出荷に継続的に取り組む。

指宿漁協・山川町漁協及び漁業者は、アオダイ・ハマダイや「菜の花カンパチ」などについてお歳暮用としての鮮魚の出荷・販売の強化に継続的に取り組む。

## (3) 加工施設のHACCP対応化と加工品の開発・販売強化

指宿市・山川町漁協及び漁業者は、HACCP制度化に向け、指宿市内の漁協加工場や水産加工施設のHACCP制度化に対応した衛生基準の導入に取り組む。

漁業者は、加工業者等とも連携しながら、浜値の低い魚種を利用した加工品の開発に継続的に取り組むとともに、開発した商品の漁協直売所や道の駅「山川港活お海道」・「いぶすき彩花菜館」での販売に積極的に取り組む。

指宿漁協・山川町漁協・山川水産加工組合は、指宿市や加工業者等と連携しながら指宿産水産物のPRプロジェクト「篤姫の台所」を積極的に活用し、東京や指宿市内で開催される指宿市主催の商談会への出展やインターネット販売など、指宿産の水産加工品の販売強化に継続的に取り組む。

指宿市・指宿漁協・山川町漁協・山川水産加工組合及び漁業者は、指宿市主催の「いぶすきマルシェ」などの地域イベントへの出展や、南薩地区（指宿市・南九州市・枕崎市・南さつま市）の水産物直売施設で構成する「南薩おさかな海道ネットワーク協議会」と連携した広域的な水産物販促イベントでの出展、鹿児島県主催の水産物品評会への出品、ふるさと納税の返礼品への出品等に精力的に取り組む、指宿産の水産加工品のPRと販

路拡大に継続的に取り組む。

### 3 加工業（かつお節製造業）の振興

#### (1) 加工原魚確保の推進

指宿市・山川水産加工組合・山川町漁協は、かつお節の原料であるカツオの水揚げ増加を図るため、海外まき網船入港の誘致活動や輸入環境の整備に取り組む。

#### (2) かつお節の販売・PR活動

山川水産加工組合は、指宿市内のホテル・旅館等へのかつお節削り機の整備を推進し、観光客へのかつお節のPRを行うとともに、地元でのかつお節の消費拡大に取り組む。

山川水産加工組合は、地元の学校給食や結婚式・Jリーグチームへのかつお節の提供やかつお節を使った新商品の開発に取り組み、指宿鰹節のPRと販売促進に取り組む。

山川水産加工組合青年部「協和会」と女性部「オカカーズ」は、毎月24日の「ふしの日」にJR指宿駅等でかつお節のパックの無料配布や11月24日の「いい節の日」イベント、毎年開催される菜の花マラソン等での茶ぶしの無料配布を行い、指宿鰹節のPRに取り組む。

#### (3) 指宿鰹節のブランド化

山川水産加工組合は、平成30年度に商標登録を行った「指宿鰹節」について、地域団体商標登録を行うとともに、かつお節産地の統一感の醸成へ向け、山川地域で製造される鰹節関連の加工品のパッケージや段ボール等への、「指宿鰹節」ロゴマークの使用の徹底に継続的に取り組む。

山川水産加工組合と指宿市は、東京や京都など大都市圏のレストランと連携して指宿鰹節フェアを実施し、都市部富裕層に向けたコアなファンづくりに継続的に取り組む。

### 4 水産基盤施設の適切な整備

#### (1) 漁港施設の整備

山川町漁協と鹿児島県は、海外まき網船など大型漁船の誘致に向け、山川漁港外港の－8m岸壁200mについて、耐震機能を強化した－9m岸壁290mを整備し、併せて大型漁船が安全に入港できるように－8m航路・泊地の－9mへの増深工事を進める。

#### (2) 水揚荷捌施設の整備

山川町漁協と鹿児島県は、既存の山川漁港外港荷捌施設全体を高度衛生管理型市場へ整備する。



	<p>山川町漁協は鹿児島県と連携しながら、山川漁港内港荷捌施設について、漁港施設の有効活用等に資する施設の検討を進めていくうえで、24時間無人化が可能な新たな自動製氷設備の整備について協議を進める。</p> <p>(3) 衛生管理型水産物総合加工施設の整備</p> <p>山川町漁協は、3箇所の加工施設を1箇所に集約させて生産性の効率化・安定化を図るため、新たなHACCP対応型の総合加工施設の整備を行う。</p> <p>(4) 冷凍冷蔵施設の整備</p> <p>山川町漁協は、入港する海外まき網船の大型化と生食用カツオの増産化が年々進んできていることを受け、生食用カツオの保管容量を増加させるため、新たな超低温冷凍庫の整備に向けた計画協議を行う。</p> <p>山川町漁協と山川水産加工組合は、2020年にフロンガスの完全撤廃を受け、現在フロンガス冷媒を使用している冷凍機のアンモニアガス若しくは代替フロンに対応した冷凍機への入れ替え作業について、補助事業や制度資金等を視野に入れて長期的に取り組んでいく。</p> <p>5 後継者の確保・育成</p> <p>(1) 新規就業者の確保・育成</p> <p>指宿漁協・山川町漁協は、漁業就業希望者への就業情報や漁業情報の提供、県・県漁連の新規漁業就業者定着推進事業（かごしま漁業学校）や新規漁業就業者確保事業による漁業現場での実践的研修の実施・技術習得支援を行っていくとともに、市の漁業後継者奨励金による新規漁業就業者の着業促進を図り、将来の漁業生産を担う意欲的な人材を確保・育成に取り組む。</p> <p>(2) 若手漁業者の育成</p> <p>指宿漁協・山川町漁協・指宿市・鹿児島県南薩地域振興局は、既に着業している若手漁業者に向け、漁業制度資金や水産業成長産業化沿岸地域創出事業等の積極的な活用の推進を図り、若手漁業者の独立・操業支援に取り組む。</p>
<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<p>漁業コスト削減のための取組</p> <p>以下の取組を推進することで、燃油使用量を基準年より0.6%削減する。</p> <p>1 省燃油活動の実施</p> <p>漁業者は、船底やプロペラ等の清掃及び塗装を年1回以上行い燃油の削減に努める。</p>

	<p>指宿漁協・山川町漁協は、近場の操業ができるよう漁業権内への新たな魚礁・増殖礁の設置を検討し、燃油の削減に繋げる。</p> <p>2 省エネ航行の実施 漁業者は、操業の際の減速航行を徹底し、燃油の削減に努める。</p> <p>3 漁場共同探索の実施 瀬物一本釣りグループでは、衛星電話で連絡を取り合い、情報の共有化を行い、漁場探索時間の短縮による燃油の削減を図る。</p> <p>4 計画的な設備の更新 漁業者は、老朽化した船体や推進機関・漁労設備等について、水産業成長産業化沿岸地域創出事業等の補助事業を活用して計画的な設備の更新に努め、効率的な操業に努める。</p> <p>5 共同利用施設の適正な管理と計画的な改修 鹿児島県・指宿市及び指宿漁協・山川町漁協は、浮き桟橋や上架施設等の共同利用施設の適正な管理と計画的な改修を行い、安心して効率的な操業を続けられる漁港機能の維持に取り組み、漁業者の効率的な操業のサポートに取り組む。</p>
活用する支援措置等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水産多面的機能発揮対策事業（国）</li> <li>・県単漁場施設整備事業（県）</li> <li>・広域漁場整備事業（国）</li> <li>・豊かな海づくり総合推進事業（県）</li> <li>・つくり育て管理する漁業補助金（市）</li> <li>・魚類増殖事業補助金（市）</li> <li>・水産基盤整備事業（国）</li> <li>・浜の活力再生・成長促進交付金（国）</li> <li>・漁港機能増進事業（国）</li> <li>・種子島周辺漁業対策事業（JAXA）</li> <li>・水産業成長産業化沿岸地域創出事業（国）</li> <li>・浜の担い手漁船リース緊急対策事業（国）</li> <li>・競争力強化型機器等導入緊急対策事業（国）</li> </ul>

3年目（平成33年度） 基準年より漁業所得の8.1%向上を目指す。

漁業収入向上のための取組	<p>漁業収入向上のための取組</p> <p>以下の取組を実施することで、基準年より漁業収入の3.1%向上を目指す。</p> <p>1 資源の増大と漁場環境保全</p> <p>(1) 藻場の造成</p> <p>指宿漁協・山川町漁協及び漁業者は、沿岸漁場の維持・回復を図るため、鹿児島県水産技術開発センターや鹿児島水産高等学校等と連携しながら、アマモやホンダワラ類・ワカメ等の藻場造成や食害生物の除去等に継続的に取り組む。</p> <p>(2) 漁場整備</p> <p>山川町漁協は、沿岸漁業資源の増大を図るため、共同漁業権区域内への増殖礁を整備するとともに、新たな魚礁・増殖礁の整備計画を進める。</p> <p>また指宿漁協・山川町漁協及び漁業者は、沿岸漁業の重要な漁獲対象魚種であるアオリイカやマダコの資源増大を図るため、産卵用のイカシバやたこつぼの投入を継続的に行う。</p> <p>さらに漁業者は、過去に整備された漁場や新たに整備された漁場の積極的な活用に継続的に取り組む。</p> <p>(3) 種苗放流</p> <p>指宿漁協・山川町漁協及び漁業者は、これまで実施してきたマダイ・ヒラメの種苗放流について、より放流効果を高めるために、かごしま豊かな海づくり協会の協力を得ながら種苗の海面馴致や放流適地の選定、種苗放流の集約化に継続的に取り組む。</p> <p>2 付加価値向上や販路拡大等による魚価向上</p> <p>(1) 衛生対策・鮮度保持</p> <p>指宿漁協は、市場における木製魚函の廃止（プラスチック製魚函のみの使用）の徹底やステンレス製荷鈎の使用、市場入り口の消毒槽設置、高圧洗浄機等による市場揚場の清掃等の徹底など、市場の衛生対策に継続的に取り組む。</p> <p>山川町漁協及び漁業者は、引き続き指宿漁協市場への沿岸物の漁獲物の出荷に積極的に取り組む。</p> <p>指宿漁協・山川町漁協及び漁業者は、鮮度保持に係る先進事例の積極的な情報収集に継続的に取り組む。</p> <p>瀬物一本釣り船団は、31年度に整備したナノバブル発生装置を活用し、漁獲物の鮮度保持に積極的に取り組む。</p>
--------------	--

## (2) 漁獲物の販路の強化・拡大

指宿漁協は、鮮魚商組合と協議し、指宿漁協本所市場での入札に参加する仲買人の増加を継続的に促していく。

指宿漁協・山川町漁協及び漁業者は、漁獲物の一部を鹿児島中央卸売市場へ出荷し、鮮度保持・衛生対策の施された指宿産水産物のPRに継続的に取り組む。

漁業者は、鮮度保持・衛生対策を施した指宿産水産物を道の駅「山川港活お海道」や「いぶすき彩花菜館」に積極的に出荷し、鮮度保持・衛生対策の施された指宿産水産物のPRに継続的に取り組む。

漁業者は、鹿児島中央卸売市場・指宿漁協市場の休市時に、沿岸物の漁獲物の量販店や鮮魚店への直接出荷に継続的に取り組む。

指宿漁協・山川町漁協及び漁業者は、アオダイ・ハマダイや「菜の花カンパチ」などについてお歳暮用としての鮮魚の出荷・販売の強化に継続的に取り組む。

## (3) 加工施設のHACCP対応化と加工品の開発・販売強化

指宿市・山川町漁協及び漁業者は、指宿市内の漁協加工場や水産加工施設のHACCP制度化に対応した衛生基準の遵守に取り組む。

漁業者は、加工業者等とも連携しながら、浜値の低い魚種を利用した加工品の開発に継続的に取り組むとともに、開発した商品の漁協直売所や道の駅「山川港活お海道」・「いぶすき彩花菜館」での販売に積極的に取り組む。

指宿漁協・山川町漁協・山川水産加工組合は、指宿市や加工業者等と連携しながら指宿産水産物のPRプロジェクト「篤姫の台所」を積極的に活用し、東京や指宿市内で開催される指宿市主催の商談会への出展やインターネット販売など、指宿産の水産加工品の販売強化に継続的に取り組む。

指宿市・指宿漁協・山川町漁協・山川水産加工組合及び漁業者は、指宿市主催の「いぶすきマルシェ」などの地域イベントへの出展や、南薩地区（指宿市・南九州市・枕崎市・南さつま市）の水産物直売施設で構成する「南薩おさかな海道ネットワーク協議会」と連携した広域的な水産物販促イベントでの出展、鹿児島県主催の水産物品評会への出品、ふるさと納税の返礼品への出品等に精力的に取り組む、指宿産の水産加工品のPRと販路拡大に継続的に取り組む。

## 3 加工業（かつお節製造業）の振興

### (1) 加工原魚確保の推進

指宿市・山川水産加工組合・山川町漁協は、かつお節の原料であるカツ

オの水揚げ増加を図るため、海外まき網船入港の誘致活動や輸入環境の整備に取り組む。

#### (2) かつお節の販売・PR活動

山川水産加工組合は、指宿市内のホテル・旅館等へのかつお節削り機の整備を推進し、観光客へのかつお節のPRを行うとともに、地元でのかつお節の消費拡大に取り組む。

山川水産加工組合は、地元の学校給食や結婚式・Jリーグチームへのかつお節の提供やかつお節を使った新商品の開発に取り組み、指宿鰹節のPRと販売促進に取り組む。

山川水産加工組合青年部「協和会」と女性部「オカカーズ」は、毎月24日の「ふしの日」にJR指宿駅等がかつお節のパックの無料配布や11月24日の「いい節の日」イベント、毎年開催される菜の花マラソン等での茶ぶしの無料配布を行い、指宿鰹節のPRに取り組む。

#### (3) 指宿鰹節のブランド化の確立

山川水産加工組合は、平成32年に地域団体商標登録を行った「指宿鰹節」について、かつお節産地の統一感のさらなる醸成へ向け、山川地域で製造される鰹節関連の加工品のパッケージや段ボール等へのロゴマークの使用の徹底に継続的に取り組む。

山川水産加工組合と指宿市は、東京や京都など大都市圏のレストランと連携して指宿鰹節フェアを実施し、都市部富裕層に向けたコアなファンづくりに継続的に取り組む。

### 4 水産基盤施設の適切な整備

#### (1) 漁港施設の整備

山川町漁協と鹿児島県は、海外まき網船など大型漁船の誘致に向け、山川漁港外港の－8m岸壁200mについて、耐震機能を強化した－9m岸壁290mを整備し、併せて大型漁船が安全に入港できるように－8m航路・泊地の－9mへの増深作業を進める。

#### (2) 水揚荷捌施設の整備

山川町漁協・山川水産加工組合及び指宿市は、山川漁港外港荷捌施設が32年度に高度衛生管理型市場へ整備されたことを受け、海外まき網船など大型漁船の誘致に積極的に取り組んでいく。

山川町漁協は鹿児島県と連携しながら、山川漁港内港荷捌施設の漁港施設の有効活用等に資する施設の検討を進めていく上で、24時間無人化が可能な新たな自動製氷設備を整備する。

#### (3) 衛生管理型水産物総合加工施設の整備

	<p>山川町漁協は、32年度に整備したH A C C P対応型の総合加工施設での加工品製造に積極的に取り組むとともに、単独で加工品製造に取り組む漁業者や地元加工業者をテナント方式で受け入れ、組合員が漁獲した一部の魚を山川町漁協加工部が窓口となって買い取り、加工業者と連携して加工・販売する仕組みづくりに取り組む。</p> <p>(4) 冷凍冷蔵施設の整備</p> <p>山川町漁協は、入港する海外まき網船の大型化と生食用カツオの増産化が年々進んできていることを受け、生食用カツオの保管容量を増加させるため、新たな超低温冷凍庫の整備を行う。</p> <p>山川町漁協と山川水産加工組合は、2020年にフロンガスの完全撤廃を受け、現在フロンガス冷媒を使用している冷凍機のアンモニアガス若しくは代替フロンに対応した冷凍機への入れ替え作業について、補助事業や制度資金等を視野に入れて長期的に取り組んでいく。</p> <p>5 後継者の確保・育成</p> <p>(1) 新規就業者の確保・育成</p> <p>指宿漁協・山川町漁協は、漁業就業希望者への就業情報や漁業情報の提供、県・県漁連の新規漁業就業者定着推進事業（かごしま漁業学校）や新規漁業就業者確保事業による漁業現場での実践的研修の実施・技術習得支援を行っていくとともに、市の漁業後継者奨励金による新規漁業就業者の着業促進を図り、将来の漁業生産を担う意欲的な人材を確保・育成に取り組む。</p> <p>(2) 若手漁業者の育成</p> <p>指宿漁協・山川町漁協・指宿市・鹿児島県南薩地域振興局は、既に着業している若手漁業者に向け、漁業制度資金や水産業成長産業化沿岸地域創出事業等の積極的な活用の推進を図り、若手漁業者の独立・操業支援に取り組む。</p>
<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<p>漁業コスト削減のための取組</p> <p>以下の取組を推進することで、漁業コストを基準年より0.6%削減する。</p> <p>1 省燃油活動の実施</p> <p>漁業者は、船底やプロペラ等の清掃及び塗装を年1回以上行い燃油の削減に努める。</p> <p>指宿漁協・山川町漁協は、近場の操業ができるよう漁業権内への新たな魚礁・増殖礁の設置を検討し、燃油の削減に繋げる。</p>

	<p>2 省エネ航行の実施 漁業者は、操業の際の減速航行を徹底し、燃油の削減に努めます。</p> <p>3 漁場共同探索の実施 瀬物一本釣りグループでは、衛星電話で連絡を取り合い、情報の共有化を行い、漁場探索時間の短縮による燃油の削減を図る。</p> <p>4 計画的な設備の更新 漁業者は、老朽化した船体や推進機関・漁労設備等について、水産業成長産業化沿岸地域創出事業等の補助事業を活用して計画的な設備の更新に努め、効率的な操業に努める。</p> <p>5 共同利用施設の適正な管理と計画的な改修 鹿児島県・指宿市及び指宿漁協・山川町漁協は、浮き栈橋や上架施設等の共同利用施設の適正な管理と計画的な改修を行い、安心して効率的な操業を続けられる漁港機能の維持に取り組み、漁業者の効率的な操業のサポートに取り組む。</p>
活用する支援措置等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水産多面的機能発揮対策事業（国）</li> <li>・県単漁場施設整備事業（県）</li> <li>・広域漁場整備事業（国）</li> <li>・豊かな海づくり総合推進事業（県）</li> <li>・つくり育て管理する漁業補助金（市）</li> <li>・魚類増殖事業補助金（市）</li> <li>・水産基盤整備事業（国）</li> <li>・浜の活力再生・成長促進交付金（国）</li> <li>・漁港機能増進事業（国）</li> <li>・種子島周辺漁業対策事業（JAXA）</li> <li>・水産業成長産業化沿岸地域創出事業（国）</li> <li>・浜の担い手漁船リース緊急対策事業（国）</li> <li>・競争力強化型機器等導入緊急対策事業（国）</li> </ul>

4年目（平成34年度） 基準年より漁業所得の10.2%向上を目指す。

漁業収入向上のための取組	<p>漁業収入向上のための取組</p> <p>以下の取組を実施することで、基準年より漁業収入の3.9%向上を目指す。</p> <p>1 資源の増大と漁場環境保全</p> <p>(1) 藻場の造成</p> <p>指宿漁協・山川町漁協及び漁業者は、沿岸漁場の維持・回復を図るため、鹿児島県水産技術開発センターや鹿児島水産高等学校等と連携しながら、アマモやホンダワラ類・ワカメ等の藻場造成や食害生物の除去等に継続的に取り組む。</p> <p>(2) 漁場整備</p> <p>山川町漁協は、沿岸漁業資源の増大を図るため、共同漁業権区域内への増殖礁を整備するとともに、新たな魚礁・増殖礁の整備計画を進める。</p> <p>また指宿漁協・山川町漁協及び漁業者は、沿岸漁業の重要な漁獲対象魚種であるアオリイカやマダコの資源増大を図るため、産卵用のイカシバやたこつぼの投入を継続的に行う。</p> <p>さらに漁業者は、過去に整備された漁場や新たに整備された漁場の積極的な活用に継続的に取り組む。</p> <p>(3) 種苗放流</p> <p>指宿漁協・山川町漁協及び漁業者は、これまで実施してきたマダイ・ヒラメの種苗放流について、より放流効果を高めるために、かごしま豊かな海づくり協会の協力を得ながら種苗の海面馴致や放流適地の選定、種苗放流の集約化に継続的に取り組む。</p> <p>2 付加価値向上や販路拡大等による魚価向上</p> <p>(1) 衛生対策・鮮度保持</p> <p>指宿漁協は、市場における木製魚函の廃止（プラスチック製魚函のみの使用）の徹底やステンレス製荷鈎の使用、市場入り口の消毒槽設置、高圧洗浄機等による市場揚場の清掃等の徹底など、市場の衛生対策に継続的に取り組む。</p> <p>山川町漁協及び漁業者は、引き続き指宿漁協市場への沿岸物の漁獲物の出荷に積極的に取り組む。</p> <p>指宿漁協・山川町漁協及び漁業者は、鮮度保持に係る先進事例の積極的な情報収集に継続的に取り組む。</p> <p>瀬物一本釣り船団は、31年度に整備したナノバブル発生装置を活用し、漁獲物の鮮度保持に積極的に取り組む。</p>
--------------	--



## (2) 漁獲物の販路の強化・拡大

指宿漁協は、鮮魚商組合と協議し、指宿漁協本所市場での入札に参加する仲買人の増加を継続的に促していく。

指宿漁協・山川町漁協及び漁業者は、漁獲物の一部を鹿児島中央卸売市場へ出荷し、鮮度保持・衛生対策の施された指宿産水産物のPRに継続的に取り組む。

漁業者は、鮮度保持・衛生対策を施した指宿産水産物を道の駅「山川港活お海道」や「いぶすき彩花菜館」に積極的に出荷し、鮮度保持・衛生対策の施された指宿産水産物のPRに継続的に取り組む。

漁業者は、鹿児島中央卸売市場・指宿漁協市場の休市時に、沿岸物の漁獲物の量販店や鮮魚店への直接出荷に継続的に取り組む。

指宿漁協・山川町漁協及び漁業者は、アオダイ・ハマダイや「菜の花カンパチ」などについてお歳暮用としての鮮魚の出荷・販売の強化に継続的に取り組む。

## (3) 加工施設のHACCP対応化と加工品の開発・販売強化

指宿市・山川町漁協及び漁業者は、指宿市内の漁協加工場や水産加工施設のHACCP制度化に対応した衛生基準の遵守に取り組む。

漁業者は、加工業者等とも連携しながら、浜値の低い魚種を利用した加工品の開発に継続的に取り組むとともに、開発した商品の漁協直売所や道の駅「山川港活お海道」・「いぶすき彩花菜館」での販売に積極的に取り組む。

指宿漁協・山川町漁協・山川水産加工組合は、指宿市や加工業者等と連携しながら指宿産水産物のPRプロジェクト「篤姫の台所」を積極的に活用し、東京や指宿市内で開催される指宿市主催の商談会への出展やインターネット販売など、指宿産の水産加工品の販売強化に継続的に取り組む。

指宿市・指宿漁協・山川町漁協・山川水産加工組合及び漁業者は、指宿市主催の「いぶすきマルシェ」などの地域イベントへの出展や、南薩地区（指宿市・南九州市・枕崎市・南さつま市）の水産物直売施設で構成する「南薩おさかな海道ネットワーク協議会」と連携した広域的な水産物販促イベントでの出展、鹿児島県主催の水産物品評会への出品、ふるさと納税の返礼品への出品等に精力的に取り組む、指宿産の水産加工品のPRと販路拡大に継続的に取り組む。

## 3 加工業（かつお節製造業）の振興

### (1) 加工原魚確保の推進

指宿市・山川水産加工組合・山川町漁協は、かつお節の原料であるカツ

オの水揚げ増加を図るため、海外まき網船入港の誘致活動や輸入環境の整備に取り組む。

#### (2) かつお節の販売・PR活動

山川水産加工組合は、指宿市内のホテル・旅館等へのかつお節削り機の整備を推進し、観光客へのかつお節のPRを行うとともに、地元でのかつお節の消費拡大に取り組む。

山川水産加工組合は、地元の学校給食や結婚式・Jリーグチームへのかつお節の提供やかつお節を使った新商品の開発に取り組み、指宿鰹節のPRと販売促進に取り組む。

山川水産加工組合青年部「協和会」と女性部「オカカーズ」は、毎月24日の「ふしの日」にJR指宿駅等がかつお節のパックの無料配布や11月24日の「いい節の日」イベント、毎年開催される菜の花マラソン等での茶ぶしの無料配布を行い、指宿鰹節のPRに取り組む。

#### (3) 指宿鰹節のブランド化の確立

山川水産加工組合は、平成32年に地域団体商標登録を行った「指宿鰹節」について、かつお節産地の統一感のさらなる醸成へ向け、山川地域で製造される鰹節関連の加工品のパッケージや段ボール等へのロゴマークの使用の徹底に継続的に取り組む。

山川水産加工組合と指宿市は、東京や京都など大都市圏のレストランと連携して指宿鰹節フェアを実施し、都市部富裕層に向けたコアなファンづくりに継続的に取り組む。

### 4 水産基盤施設の適切な整備

#### (1) 漁港施設の整備

山川町漁協・山川水産加工組合及び指宿市は、山川漁港外港に耐震機能を強化した－9m岸壁290mと－8m航路・泊地の－9mへの増深が33年度に整備されたことを受け、海外まき網船など大型漁船の誘致に積極的に取り組んでいく。

#### (2) 水揚荷捌施設の整備

山川町漁協・山川水産加工組合及び指宿市は、山川漁港外港荷捌施設が32年度に高度衛生管理型市場へ整備されたことを受け、海外まき網船など大型漁船の誘致に積極的に取り組んでいく。

山川町漁協は、山川漁港内港荷捌施設について、漁港施設に有効活用等に資する施設の検討を進めていく上で、漁業者に対して33年度に整備した自動製氷設備の活用を働きかける。

#### (3) 衛生管理型水産物総合加工施設の整備

	<p>山川町漁協は、32年度に整備したH A C C P対応型の総合加工施設での加工品製造に積極的に取り組むとともに、単独で加工品製造に取り組む漁業者や地元加工業者をテナント方式で受け入れ、組合員が漁獲した一部の魚を山川町漁協加工部が窓口となって買い取り、加工業者と連携して加工・販売に積極的に取り組む。</p> <p>(4) 冷凍冷蔵施設の整備</p> <p>山川町漁協・山川水産加工組合及び指宿市は、山川町漁協が33年度に新たな超低温冷凍庫の整備したことを受け、海外まき網船など大型漁船の誘致に積極的に取り組んでいく。</p> <p>山川町漁協と山川水産加工組合は、2020年にフロンガスの完全撤廃を受け、現在フロンガス冷媒を使用している冷凍機のアンモニアガス若しくは代替フロンに対応した冷凍機への入れ替え作業について、補助事業や制度資金等を視野に入れて長期的に取り組んでいく。</p> <p>5 後継者の確保・育成</p> <p>(1) 新規就業者の確保・育成</p> <p>指宿漁協・山川町漁協は、漁業就業希望者への就業情報や漁業情報の提供、県・県漁連の新規漁業就業者定着推進事業（かごしま漁業学校）や新規漁業就業者確保事業による漁業現場での実践的研修の実施・技術習得支援を行っていくとともに、市の漁業後継者奨励金による新規漁業就業者の着業促進を図り、将来の漁業生産を担う意欲的な人材を確保・育成に取り組む。</p> <p>(2) 若手漁業者の育成</p> <p>指宿漁協・山川町漁協・指宿市・鹿児島県南薩地域振興局は、既に着業している若手漁業者に向け、漁業制度資金や水産業成長産業化沿岸地域創出事業等の積極的な活用の推進を図り、若手漁業者の独立・操業支援に取り組む。</p>
<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<p>漁業コスト削減のための取組</p> <p>以下の取組を推進することで、漁業コストを基準年より0.6%削減する。</p> <p>1 省燃油活動の実施</p> <p>漁業者は、船底やプロペラ等の清掃及び塗装を年1回以上行い燃油の削減に努める。</p> <p>指宿漁協・山川町漁協は、近場の操業ができるよう漁業権内への新たな魚</p>

	<p>礁・増殖礁の設置を検討し、燃油の削減に繋げる。</p> <p>2 省エネ航行の実施 漁業者は、操業の際の減速航行を徹底し、燃油の削減に努める。</p> <p>3 漁場共同探索の実施 瀬物一本釣りグループでは、衛星電話で連絡を取り合い、情報の共有化を行い、漁場探索時間の短縮による燃油の削減を図る。</p> <p>4 計画的な設備の更新 漁業者は、老朽化した船体や推進機関・漁労設備等について、水産業成長産業化沿岸地域創出事業等の補助事業を活用して計画的な設備の更新に努め、効率的な操業に努める。</p> <p>5 共同利用施設の適正な管理と計画的な改修 鹿児島県・指宿市及び指宿漁協・山川町漁協は、浮き栈橋や上架施設等の共同利用施設の適正な管理と計画的な改修を行い、安心して効率的な操業を続けられる漁港機能の維持に取り組み、漁業者の効率的な操業のサポートに取り組む。</p>
活用する支援措置等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水産多面的機能発揮対策事業（国）</li> <li>・県単漁場施設整備事業（県）</li> <li>・広域漁場整備事業（国）</li> <li>・豊かな海づくり総合推進事業（県）</li> <li>・つくり育て管理する漁業補助金（市）</li> <li>・魚類増殖事業補助金（市）</li> <li>・水産基盤整備事業（国）</li> <li>・浜の活力再生・成長促進交付金（国）</li> <li>・漁港機能増進事業（国）</li> <li>・種子島周辺漁業対策事業（JAXA）</li> <li>・水産業成長産業化沿岸地域創出事業（国）</li> <li>・浜の担い手漁船リース緊急対策事業（国）</li> <li>・競争力強化型機器等導入緊急対策事業（国）</li> </ul>

5年目（平成35年度） 基準年より漁業所得の12.5%向上を目指す。

漁業収入向上のための取組	<p>漁業収入向上のための取組</p> <p>以下の取組を実施することで、基準年より漁業収入の4.7%向上を目指す。</p> <p>1 資源の増大と漁場環境保全</p> <p>(1) 藻場の造成</p> <p>指宿漁協・山川町漁協及び漁業者は、沿岸漁場の維持・回復を図るため、鹿児島県水産技術開発センターや鹿児島水産高等学校等と連携しながら、アマモやホンダワラ類・ワカメ等の藻場造成や食害生物の除去等に継続的に取り組む。</p> <p>(2) 漁場整備</p> <p>山川町漁協は、沿岸漁業資源の増大を図るため、共同漁業権区域内への増殖礁を整備するとともに、新たな魚礁・増殖礁の整備計画を進める。</p> <p>また指宿漁協・山川町漁協及び漁業者は、沿岸漁業の重要な漁獲対象魚種であるアオリイカやマダコの資源増大を図るため、産卵用のイカシバやたこつぼの投入を継続的に行う。</p> <p>さらに漁業者は、過去に整備された漁場や新たに整備された漁場の積極的な活用に継続的に取り組む。</p> <p>(3) 種苗放流</p> <p>指宿漁協・山川町漁協及び漁業者は、これまで実施してきたマダイ・ヒラメの種苗放流について、より放流効果を高めるために、かごしま豊かな海づくり協会の協力を得ながら種苗の海面馴致や放流適地の選定、種苗放流の集約化に継続的に取り組む。</p> <p>2 付加価値向上や販路拡大等による魚価向上</p> <p>(1) 衛生対策・鮮度保持</p> <p>指宿漁協は、市場における木製魚函の廃止（プラスチック製魚函のみの使用）の徹底やステンレス製荷鈎の使用、市場入り口の消毒槽設置、高圧洗浄機等による市場揚場の清掃等の徹底など、市場の衛生対策に継続的に取り組む。</p> <p>山川町漁協及び漁業者は、引き続き指宿漁協市場への沿岸物の漁獲物の出荷に積極的に取り組む。</p> <p>指宿漁協・山川町漁協及び漁業者は、鮮度保持に係る先進事例の積極的な情報収集に継続的に取り組む。</p> <p>瀬物一本釣り船団は、31年度に整備したナノバブル発生装置を活用し、漁獲物の鮮度保持に積極的に取り組む。</p>
--------------	--

(2) 漁獲物の販路の強化・拡大

指宿漁協は、鮮魚商組合と協議し、指宿漁協本所市場での入札に参加する仲買人の増加を継続的に促していく。

指宿漁協・山川町漁協及び漁業者は、漁獲物の一部を鹿児島中央卸売市場へ出荷し、鮮度保持・衛生対策の施された指宿産水産物のPRに継続的に取り組む。

漁業者は、鮮度保持・衛生対策を施した指宿産水産物を道の駅「山川港活お海道」や「いぶすき彩花菜館」に積極的に出荷し、鮮度保持・衛生対策の施された指宿産水産物のPRに継続的に取り組む。

漁業者は、鹿児島中央卸売市場・指宿漁協市場の休市時に、沿岸物の漁獲物の量販店や鮮魚店への直接出荷に継続的に取り組む。

指宿漁協・山川町漁協及び漁業者は、アオダイ・ハマダイや「菜の花カンパチ」などについてお歳暮用としての鮮魚の出荷・販売の強化に継続的に取り組む。

(3) 加工施設のHACCP対応化と加工品の開発・販売強化

指宿市・山川町漁協及び漁業者は、指宿市内の漁協加工場や水産加工施設のHACCP制度化に対応した衛生基準の遵守に取り組む。

漁業者は、加工業者等とも連携しながら、浜値の低い魚種を利用した加工品の開発に継続的に取り組むとともに、開発した商品の漁協直売所や道の駅「山川港活お海道」・「いぶすき彩花菜館」での販売に積極的に取り組む。

指宿漁協・山川町漁協・山川水産加工組合は、指宿市や加工業者等と連携しながら指宿産水産物のPRプロジェクト「篤姫の台所」を積極的に活用し、東京や指宿市内で開催される指宿市主催の商談会への出展やインターネット販売など、指宿産の水産加工品の販売強化に継続的に取り組む。

指宿市・指宿漁協・山川町漁協・山川水産加工組合及び漁業者は、指宿市主催の「いぶすきマルシェ」などの地域イベントへの出展や、南薩地区（指宿市・南九州市・枕崎市・南さつま市）の水産物直売施設で構成する「南薩おさかな海道ネットワーク協議会」と連携した広域的な水産物販促イベントでの出展、鹿児島県主催の水産物品評会への出品、ふるさと納税の返礼品への出品等に精力的に取り組む、指宿産の水産加工品のPRと販路拡大に継続的に取り組む。

3 加工業（かつお節製造業）の振興

(1) 加工原魚確保の推進

指宿市・山川水産加工組合・山川町漁協は、かつお節の原料であるカツ

オの水揚げ増加を図るため、海外まき網船入港の誘致活動や輸入環境の整備に取り組む。

#### (2) かつお節の販売・PR活動

山川水産加工組合は、指宿市内のホテル・旅館等へのかつお節削り機の整備を推進し、観光客へのかつお節のPRを行うとともに、地元でのかつお節の消費拡大に取り組む。

山川水産加工組合は、地元の学校給食や結婚式・Jリーグチームへのかつお節の提供やかつお節を使った新商品の開発に取り組み、指宿鰹節のPRと販売促進に取り組む。

山川水産加工組合青年部「協和会」と女性部「オカカーズ」は、毎月24日の「ふしの日」にJR指宿駅等がかつお節のパックの無料配布や11月24日の「いい節の日」イベント、毎年開催される菜の花マラソン等での茶ぶしの無料配布を行い、指宿鰹節のPRに取り組む。

#### (3) 指宿鰹節のブランド化の確立

山川水産加工組合は、平成32年に地域団体商標登録を行った「指宿鰹節」について、かつお節産地の統一感のさらなる醸成へ向け、山川地域で製造される鰹節関連の加工品のパッケージや段ボール等へのロゴマークの使用の徹底に継続的に取り組む。

山川水産加工組合と指宿市は、東京や京都など大都市圏のレストランと連携して指宿鰹節フェアを実施し、都市部富裕層に向けたコアなファンづくりに継続的に取り組む。

### 4 水産基盤施設の適切な整備

#### (1) 漁港施設の整備

山川町漁協・山川水産加工組合及び指宿市は、山川漁港外港に耐震機能を強化した－9m岸壁290mと－8m航路・泊地の－9mへの増深が33年度に整備されたことを受け、海外まき網船など大型漁船の誘致に積極的に取り組んでいく。

#### (2) 水揚荷捌施設の整備

山川町漁協・山川水産加工組合及び指宿市は、山川漁港外港荷捌施設が32年度に高度衛生管理型市場へ整備されたことを受け、海外まき網船など大型漁船の誘致に積極的に取り組んでいく。

山川町漁協は鹿児島県と連携しながら、山川漁港内港荷捌施設について、漁港施設の有効活用等に資する施設の検討を進めていく上で、漁業者に対し、33年度に整備した自動製氷設備の積極的な活用を働きかける。

#### (3) 衛生管理型水産物総合加工施設の整備

	<p>山川町漁協は、32年度に整備したH A C C P対応型の総合加工施設での加工品製造に積極的に取り組むとともに、単独で加工品製造に取り組む漁業者や地元加工業者をテナント方式で受け入れ、組合員が漁獲した一部の魚を山川町漁協加工部が窓口となって買い取り、加工業者と連携して加工・販売に積極的に取り組む。</p> <p>(4) 冷凍冷蔵施設の整備</p> <p>山川町漁協・山川水産加工組合及び指宿市は、山川町漁協が33年度に新たな超低温冷凍庫の整備したことを受け、海外まき網船など大型漁船の誘致に積極的に取り組んでいく。</p> <p>山川町漁協と山川水産加工組合は、2020年にフロンガスの完全撤廃を受け、現在フロンガス冷媒を使用している冷凍機のアンモニアガス若しくは代替フロンに対応した冷凍機への入れ替え作業について、補助事業や制度資金等を視野に入れて長期的に取り組んでいく。</p> <p>5 後継者の確保・育成</p> <p>(1) 新規就業者の確保・育成</p> <p>指宿漁協・山川町漁協は、漁業就業希望者への就業情報や漁業情報の提供、県・県漁連の新規漁業就業者定着推進事業（かごしま漁業学校）や新規漁業就業者確保事業による漁業現場での実践的研修の実施・技術習得支援を行っていくとともに、市の漁業後継者奨励金による新規漁業就業者の着業促進を図り、将来の漁業生産を担う意欲的な人材を確保・育成に取り組む。</p> <p>(2) 若手漁業者の育成</p> <p>指宿漁協・山川町漁協・指宿市・鹿児島県南薩地域振興局は、既に着業している若手漁業者に向け、漁業制度資金や水産業成長産業化沿岸地域創出事業等の積極的な活用の推進を図り、若手漁業者の独立・操業支援に取り組む。</p>
<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<p>漁業コスト削減のための取組</p> <p>以下の取組を推進することで、漁業コストを基準年より0.6%削減する。</p> <p>1 省燃油活動の実施</p> <p>漁業者は、船底やプロペラ等の清掃及び塗装を年1回以上行い燃油の削減に努める。</p> <p>指宿漁協・山川町漁協は、近場の操業ができるよう漁業権内への新たな魚</p>



	<p>礁・増殖礁の設置を検討し、燃油の削減に繋げる。</p> <p>2 省エネ航行の実施 漁業者は、操業の際の減速航行を徹底し、燃油の削減に努める。</p> <p>3 漁場共同探索の実施 瀬物一本釣りグループでは、衛星電話で連絡を取り合い、情報の共有化を行い、漁場探索時間の短縮による燃油の削減を図る。</p> <p>4 計画的な設備の更新 漁業者は、老朽化した船体や推進機関・漁労設備等について、水産業成長産業化沿岸地域創出事業等の補助事業を活用して計画的な設備の更新に努め、効率的な操業に努める。</p> <p>5 共同利用施設の適正な管理と計画的な改修 鹿児島県・指宿市及び指宿漁協・山川町漁協は、浮き栈橋や上架施設等の共同利用施設の適正な管理と計画的な改修を行い、安心して効率的な操業を続けられる漁港機能の維持に取り組み、漁業者の効率的な操業のサポートに取り組み。</p>
活用する支援措置等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水産多面的機能発揮対策事業（国）</li> <li>・県単漁場施設整備事業（県）</li> <li>・広域漁場整備事業（国）</li> <li>・豊かな海づくり総合推進事業（県）</li> <li>・つくり育て管理する漁業補助金（市）</li> <li>・魚類増殖事業補助金（市）</li> <li>・水産基盤整備事業（国）</li> <li>・浜の活力再生・成長促進交付金（国）</li> <li>・漁港機能増進事業（国）</li> <li>・種子島周辺漁業対策事業（JAXA）</li> <li>・水産業成長産業化沿岸地域創出事業（国）</li> <li>・浜の担い手漁船リース緊急対策事業（国）</li> <li>・競争力強化型機器等導入緊急対策事業（国）</li> </ul>

(5) 関係機関との連携

- ・藻場造成活動については、鹿児島県水産技術開発センターや鹿児島水産高等学校の技術的支援を受けながら連携して取り組んでいく。
- ・漁場整備や共同利用施設整備については、水産庁や鹿児島県の指導・支援を受けながら連携して取り組んでいく。
- ・マダイ・ヒラメ種苗の集約放流については、かごしま豊かな海づくり協会の技術的支援を受けながら連携して取り組んでいく。
- ・漁獲物の鮮度保持の取組については、鹿児島県水産技術開発センターの指導を受けながら連携して取り組んでいく。
- ・高度衛生管理型市場の整備や加工施設のHACCP対応化については、大日本水産会や海洋水産システム協会の指導を受けながら連携して取り組んでいく。

4 目標

(1) 所得目標

漁業所得の向上 10%以上	基準年	平成 25～29 年度の 5 中 3 平均 ： 漁業所得
	目標年	平成 35 年度： 漁業所得

(2) 上記の算出方法及びその妥当性

--

## 2 付加価値向上や販路拡大等による魚価向上

### (1) 衛生対策・鮮度保持

指宿漁協岩本支所の瀬物 1 本釣船とまぐろ延縄漁船・そでいか延縄漁船の計 4 隻が平成 31 年度にナノバブル水発生装置を導入し、漁獲物の衛生対策・鮮度保持に取り組む計画である。

ナノバブル水発生装置については、鹿児島県内での実証試験で魚価が 4% 向上した結果が出ており、当該プランでは目標を低めに設定し、4 隻の漁獲物についてキロ単価の 2% 増加を見込むこととする。

なお、直近の平成 29 年度の漁獲実績として、4 隻の主要漁獲対象魚種であるマチ類（アオダイ、ハマダイ、ヒメダイ、オオヒメ）・マグロ類（キハダマグロ・メバチマグロ）・ソデイカの年間漁獲量は 136,232kg、年間漁獲金額は 円で平均単価は 円/kg となっており、平均単価 円/kg の増加を見込む（クロマグロについては資源管理計画の観点から漁獲対象魚種から外すこととする）。

よって、平成 29 年度実績を基準に、ナノバブル水発生装置導入後の平成 32 年以降、年間漁獲金額において 円/kg × 136,232kg = 円の増加を見込む。なお、指宿地域水産業再生委員会に所属する漁業者 1 人あたりの漁獲金額としては、平成 29 年度の人数(174 名)を基準として、 円の増加を見込む。

以上より、各年度の漁業者一人あたりの漁業所得向上額は以下のとおりとする。

### (2) 付加価値向上や販路拡大等の魚価向上

市場の衛生対策と漁獲物の鮮度保持、販路拡大や加工品の開発・販売強化等など、漁業収入向上のための取組における総体的な付加価値向上や販路拡大等の魚価向上の取組により、漁獲物の平均単価の向上を目指す。

特に資源管理対象魚種にも設定しているマダイ・マダコについては、鹿児島市中央卸売市場と同等の平均単価を目指す。

なお平成 29 年度における指宿地域水産業再生委員会に所属する漁業者全体の漁獲実績として、マダイの年間漁獲量は 31,178kg、年間漁獲金額は 円で、マダイの平均単価は 円/kg となっており、マダコの年間漁獲量は 4,954kg、年間漁獲金額は 円で、

マダコの平均単価は 円/kg となっている。

一方、平成 29 年版鹿児島県水産物卸売市場統計年報において、鹿児島市中央卸売市場でのマダイの平均単価は 円/kg ( 円高)、マダコの平均単価は 円/kg ( 円高) と

--	--	--	--

(3) 所得目標以外の成果目標

漁業者一人あたりの漁獲量の向上	基準年	平成 29 年度 :	4,033 kg
	目標年	平成 35 年度 :	4,235 kg
マダコの魚価向上	基準年	平成 29 年度 :	円/kg
	目標年	平成 35 年度 :	円/kg
かつお節平均単価の向上	基準年	平成 29 年度 :	円/kg
	目標年	平成 35 年度 :	円/kg

海外まき網船の入港隻数の増加	基準年	平成 29 年度 :	49 隻
	目標年	平成 35 年度 :	55 隻
漁業者（正組合員）の減少の抑制	基準年	平成 25～29 年度 : 正組合員	13 人減
	目標年	平成 31～35 年度 : 正組合員	8 人減

(4) 上記の算出方法及びその妥当性

<p>1 資源の増大と漁場環境保全による漁業者一人あたりの漁獲量の向上</p> <p>漁業収入向上のための取組として、資源の増大と魚農環境保全により、漁業者一人あたりの漁獲量を年間 1 % ずつの向上を見込むこととしている。</p> <p>なお、平成 29 年度における指宿地域水産業再生委員会に所属する漁業者 1 人あたりの年間漁獲量は 4,033kg となっており、各年度の漁業者一人あたりの年間漁獲量は以下のとおりと設定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 31 年度 … 4,033kg×1.01≒<b>4,073kg</b></li> <li>・平成 32 年度 … 4,033kg×1.02≒<b>4,114kg</b></li> <li>・平成 33 年度 … 4,033kg×1.03≒<b>4,154kg</b></li> <li>・平成 34 年度 … 4,033kg×1.04≒<b>4,194kg</b></li> <li>・平成 35 年度 … 4,033kg×1.05≒<b>4,235kg</b></li> </ul> <p>2 付加価値向上や販路拡大等によるマダコの魚価向上</p> <p>漁業収入向上のための取組として、付加価値向上や販路拡大等により、マダコの平均単価を年間 10 円ずつ向上させることを見込むこととしている。</p> <p>なお、平成 29 年度におけるマダコの平均単価は 円/kg となっており、各年度のマダコの平均単価は以下のとおりと設定する。</p> <p>3 加工業（かつお節製造業）の振興によるかつお節平均単価の向上</p> <p>山川水産加工組合においては、山川産かつお節のブランド化の取組として、「指宿鰹節」のかつお節の販売・PR 活動に精力的に取り組むとともに、平成 30 年度に商標登録を行った「指宿鰹節」について地域団体商標の平成 32 年度登録を目指して手続きを進めているところである。</p> <p>農林水産省大臣官房企画評価課知的財産戦略チームの「農林水産物・地域食品における地域ブランド化の先進的取組事例集」（平成19年11月）によれば、大分県の関アジ・関サバの地域商標</p>
---

取得によるブランド化の取組では平均単価が16～42%程度向上している。これをもとに当該プランでは目標を低めに設定し、「指宿鰹節」の地域商標を取得完了する平成33年度以降、かつお節の平均単価が5%の向上を見込む。

なお、平成29年における山川水産加工組合の組合員全体でのかつお節の平均単価は 円 /kg となっており、各年度のかつお節の平均単価は以下のとおりと設定する。

#### 4 水産基盤施設の適切な整備による海外まき網船の入港隻数の増加

山川町漁協と鹿児島県南薩地域振興局は、かつお節原魚の確保に向け、大型化が進む海外まき網船の山川港外港の岸壁や航路・高度衛生管理型市場の整備を計画している。また併せて、山川町漁協・山川水産加工組合及び指宿市は、海外まき網船の入港誘致活動に取り組んでいる。

山川港外港についてはこれまでのー8岸壁200mでは一度に入港できるのが2隻までで、入港を断る海外まき網船もある。

平成29年度の海外まき網船の入港隻数は49隻（概ね50隻）であるが、岸壁の整備工事を行う平成31～33年度については、一度に入港できるのが1隻に限定されることから、その間に入港隻数の4割減を見込む。

整備予定のー9岸壁290mでは、一度に入港できる隻数が3隻となり、岸壁の整備が完了する平成34年度以降は、荷役に係る人材確保等の問題等も踏まえ、当該プランでは目標を低めに設定し、海外まき網船の入港隻数の10%増加を見込む。

よって、各年度の海外まき網船の隻数は以下のとおりと設定する。

- ・平成33年度まで … 50隻×0.6≒30隻
- ・平成34年度以降 … 50隻×1.1≒55隻

#### 5 新規就業者の確保・育成による漁業者（正組合員）の減少の抑制

山川町漁協・指宿漁協及び鹿児島県・指宿市は、新規漁業就業者の着業促進や若手漁業者の育成に精力的に取り組むことで、新規漁業就業者を毎年1名ずつ確保することとする。

なお、平成25～29年度の5年間では正組合員が13名減少しているが、毎年1名ずつの新規漁業就業者を確保することでH31～35年度の5年間で5名の新規漁業就業者を確保し、これによってH31～35年度の正組合員数の減少数を8名に抑制することとする。

## 5 関連施策

活用を予定している関連施策名とその内容及びプランとの関係性

事業名	事業内容及び浜の活力再生プランとの関係性
水産多面的機能発揮 対策事業（国）	ウニ駆除や母藻投入などの藻場造成活動を支援することで水産資源の回復・増大を図る。
県単漁場施設整備事 業（県）	新たな魚礁や増殖礁の整備を行うことで、水産資源の回復・増大を図る。
広域漁場整備事業 （国）	新たな魚礁や増殖礁の整備を行うことで、水産資源の回復・増大を図る。
豊かな海づくり総合 推進事業（県）	マダイ・ヒラメ等の種苗放流活動を実施することで、水産資源の回復・増大を図る。
つくり育て管理する 漁業補助金（市）	マダイやヒラメの種苗放流や、産卵用のイカシバやたこつぼの投入を計画的に行い、水産資源の回復・増大を図る。
魚類増殖事業補助金 （市）	マダイやヒラメの種苗放流や、産卵用のイカシバやたこつぼの投入を計画的に行い、水産資源の回復・増大を図る。
水産基盤整備事業 （国）	大型漁船の入港受け入れのための漁港整備や高度衛生管理型市場の整備を行い、漁獲量の増大・漁獲物の高度衛生管理化を図る。
浜の活力再生・成長促 進交付金（国）	高度衛生管理型市場の付帯施設整備等に取り組むことで、漁獲物の高度衛生管理化を図る。
漁港機能増進事業 （国）	高度衛生管理型市場の付帯施設整備等に取り組むことで、漁獲物の高度衛生管理化を図る。
種子島周辺漁業対策 事業（JAXA）	老朽化した共同利用施設の再整備等に取り組むことで、活用する漁業者の操業効率化を図る。
水産業成長産業化沿 岸地域創出事業（国）	新たな省エネ型の漁船や機器等の導入を支援することで、漁業者の操業効率化を図る。
浜の担い手漁船リー ス緊急対策事業（国）	漁船の円滑な導入を支援することで、漁業者の操業効率化を図る。
競争力強化型機器等 導入緊急対策事業 （国）	生産性の向上や省エネ・省コスト化に資する漁業用機器等の導入を支援することで、漁業者の操業効率化を図る。